

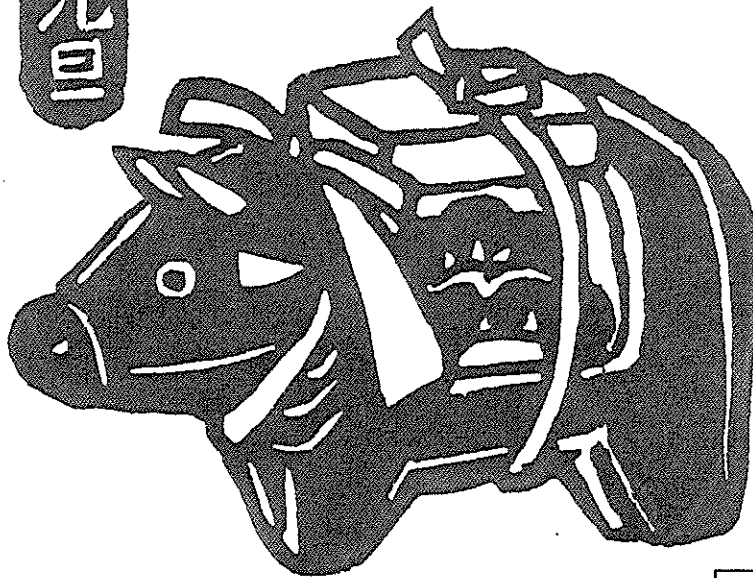
生活創造しんぶん Wa' Wa' Wa'

編集・発行

姫路生活科学センター内 生活創造応援隊

平成二十二年元旦

春 頌



見ていただいておりますの通り滝谷さんの版画はしつかりとした作りです。陽刻の太い線。そして陰刻の線に味があります。

11月、12月には年賀状の版画づくり。一度送ると楽しみにして下さるのでやめられません。

あの人も、この人もと1枚また1枚と刷っていく。刷りながら来る年がいい年であることを急みます。

実は版画のルーツは彫ったり刷ったりすることで「願かけ」だった歴史があるのです。

岩田 健三郎

滝谷 康夫 作

今年もよろしくお願いします

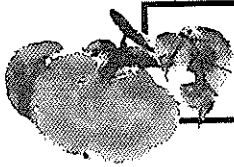
生活創造しんぶん Wa' Wa' Wa' とは…

しんぶんを通して、人の輪 Wa・平和の和 Wa・円 Wa・話 Wa・環 Wa・縁 Wa…限らない Wa に会いましょう。

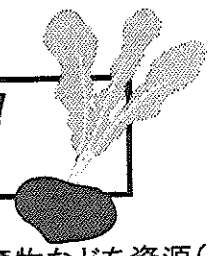
新たな Wa を学び、Wa を結んで、ステキな Wa を伝えていきます。
(生活創造応援隊 一同)

も く じ

- ◇ 「兵庫楽農生活センター」見学 P2
- ◆ 「エコキッズ実践発表会」/
環境にやさしいせっけん作り P3
- ◇ 「平成の大修理(姫路城)」の楽しみ方 P4
- ◆ 神河・薬王寺の「やくじんさん」/
福崎町「生活展」のお知らせ P5
- ◇ グループ活動紹介/
「ほっとひといき山野草だより」 P6
- ◆ 「七福神めぐり」で今年の幸運を/
「あおぞら会」内閣府特命担当大臣賞受賞/
「ゆずジャム」 P7
- ◇ センターからのお知らせ P8



循環型農業をめざす楽農を見学しました！ (有機性廃棄物を資源として活用し「廃棄物ゼロ」へ)



平成20年11月18日(火)福崎町消費生活研究会の一行は神戸市西区神出町の「**兵庫楽農生活センター**」をめざしました。6月の「環境」、11月の「食」に関する見学会は恒例行事となっています。これを機に「日常を振り返り、考える」よいきっかけづくりと捉えています。

近年食料の自給率は40%を切り、食の安全も脅かされています。

かつてのように「自然を守りながら安全な作物をつくる事ができれば」との思いは農業に関わった人なら誰もが願う事でしょう。

さて、「**兵庫楽農生活センター**」で施設見学や講義を受けた後「**楽農レストランかんでかんで**」で食事を楽しみました。バイキング形式もさることながら、どのメニューも食材の新鮮さ、安全が感じられるのです。食欲の進む事といったありません。お皿が空くとお隣を見て「まあっ！おいしそう！私も」といそいそと立ち上がりお皿を一杯にして席に着いたかと思うとさりとたいらげるのです。この繰り返しですからもうお腹はパンパン！でもみんな「デザートは違うから」、「コーヒーは又別よ」と制限時間一杯まで食欲は衰える事を知りません。

メニューの豊富さもさることながら、先程の講義が大きく影響しているかなと思われます。講師は当センターの**武さん**。柔和なお顔ですばらしい内容のお話をしてくださいました。偶然にも武さんのおばあちゃんのお家が福崎町にあったという事でより身近に親しみ深く感じられました。

お話によりますと、こちらではナタネ油からバイオディーゼル燃料をつくりトラクターの軽油の代わりに利用しているとのこと。この農機具を使って野菜を栽培し「**レストランかんでかんで**」の食材として旬の新鮮な野菜料理を提供しています。またレストランから出た生ごみは処理機でたい肥にして田畑にまいています。さらにレストランの廃食油もこの施設でバイオディーゼル燃料に再生利用しています。

このようにこれまで捨てられていた農作物、

農林水産関連の有機性廃棄物などを資源(バイオマス)としてとらえ、さまざまな用途(肥料、飼料、燃料など)に活用を進めることによって「**廃棄物ゼロ**」をめざす取り組みを進めています。概ねこのようなお話をお聞きしましたので食材への信頼度120%。食欲旺盛の故でもあります。

満腹のお腹を抱えて農機具展示場の見学！昔懐かしい器具が並んでいます。足で廻して稲穂をとる農機、「これはよく手伝ったよっ！」同じく足踏みで縄を編む機械も何台か並んでいます。「家はこれ！」「私はこちら！」「藁を入れるタイミングが難しいのよね」みんな気持ちはもう昭和の時代に帰っています。こんな機械を使っていたら公害もなく安全な作物が生産され続けた事でしょうが・・・

肉体労働を嫌がる風潮が若手の労働力不足を生み、次第に機械化が進んだ末やがては農業そのものからも離れていっているのが現状です。輸入食材にばかり頼ってれば、命を繋ぐために食した物が逆に命を危険にさらす場合もあるのです。健康被害はすぐに発生しなくても毒性が蓄積される恐れもあります。

現在の荒れ果てた農地に青々とした安全な作物ができ、生き生きとした緑の葉に満たされるのは夢なのでしょうか。

楽農センターのような循環型の農業に取り組めば夢でなくなります。帰りのバス内で「福崎もこんな農業に取り組めたらいいのにねえ」の声が聞こえました。

お世話になった武さんのお話を再び、機会の無かった人達へもぜひ、お知らせしたい。そんな思いを込めて**1月21日(水)13:00より福崎生活科学センターで武さんの講演会を開催**致します。公開講座ですので多くの方に参加していただきたく思います。お待ちしています。(応援隊 小國 冷子)



来へつなごう! 「エコキッズ実践発表会」

(市川町消費者の会)

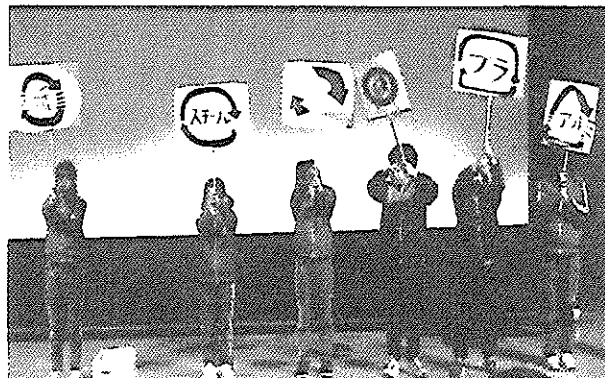
市川町消費者の会は「子どもと共に環境にやさしい暮らしをしよう」をテーマに活動が続けています。

1999年2月に「エコキッズ実践発表会」が川辺小学校の体育館で初めて開催されました。

以来毎年開催され、今年度も11回目の「発表会」が下記のとおり4つの小学校の4年生を中心に市川町主催で行われます。

子どもたちが環境学習を行い多くの人の前で発表をするという体験は、これからの生き方の上においても大きな意味のあることだと思います。

また、「一人の百歩より百人の一步前進」の言葉があるように、多くの子どもたちと多くの大人を一步前進させてくれます。これからも子どもたちと一緒に環境にやさしい暮らしづくりに取り組みたいと思っています。



(昨年度の「エコキッズ実践発表会」)

◇日 時: 2009年2月6日(金)

13時30分~14時30分

◇場 所: 市川町文化センター ひまわりホール

()

環境にやさしいせっけんを作리ませんか

【固形せっけんの作り方】

(市川町消費者の会)

【用意するもの】 廃食油 660cc / 苛性ソーダ 100g / 水 200cc

1ℓの牛乳パックの空容器 / 長さ 50cm.の木の棒 / ガムテープ / マスク

軍手またはゴム手袋

【作り方】

- ① 牛乳パックの空容器に苛性ソーダ 100g を入れる。
- ② そこへ水 200cc を静かに入れて、棒でよく混ぜる。ガスが出るので吸わないようマスクをして、ガスが出なくなるまで混ぜる。
- ③ ②の中に廃食油 660cc を入れて再びよく混ぜる。
- ④ とろへりしたらパックの口をガムテープでとめる。
- ⑤ 1ヶ月ぐらい日当たりの良い室内に置くと固まるので、パックの上から適当な大きさに切って使います。

以上が基本の固形せっけんの作り方ですが、「水」の代わりにみかんや柚子の皮をミキサーにかけ、ザルでこしたものを使うと、廃食油のにおいが消えて香りのよいせっけんが作れます。

またハーブや緑茶も使えますよ。



* 苛性ソーダは危険物です。薬局で購入しますが印鑑が必要です。

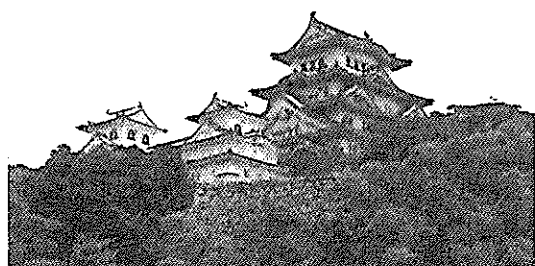
* 取り扱いには十分注意してください。万一皮膚についたときは流水で洗ってください。

(応援隊 後藤 満里子)

「平成の大修理」(姫路城)にも新たな楽しみ方が.. 周辺の石垣も見逃さない!

播磨の名城「姫路城」は播磨52万石の大名池田輝政が9年の年月をかけて築城したもので、1993(平成5)年12月に世界文化遺産に登録されました。

その姫路城では今年秋から5年間をかけて大天守保存修理工事が予定されています。国宝であり世界遺産でもある大天守の保存修理工事は、長期にわたる大規模なものです。本年度姫路城を訪れた観光客は120万人あまりに達する見込みですが、修理期間中は見学者数の大幅減が懸念されます。そこで修理期間中も、2010(平成22)年迄は大天守の外観はそのまま大天守内部の公開を続けるそうです。



工事は壁の修復が中心で、大天守の1層から3層までは表面の漆喰壁を塗りなおし4層から5層は下地から修理します。

屋根瓦はできるだけ再利用しながら前面をふき直し、くぎや銅線などによる補強を行い破損した軒先など修復。又耐震工事を行う予定です。

修理の期間中、修理現場を公開し、大天守を覆う素屋根内部から伝統的な工法による補修の様子を間近で見る事が出来ます。

2011(平成23)年にはガラス張りの見学者用エレベーターを設置、地上50メートルの最上階に見学室が設けられ、目前に迫る大天守を見ることができたり、修復工事の様子や、今までと異なった角度から外観が眺められるようになり

ます。また瀬戸内海までの大パノラマを楽しむこともできます。さらに、普段天守閣に登れない車椅子利用者もエレベーターで最上階を見学できるということです。



姫路城の石垣も昨今話題になっています。天守の北西に「鷺の清水」といわれる井戸があります。この井戸がある所に「清水門」とよばれる石垣があります。「清水門」の石垣は樹齢100年近い大木の根に押し出され石垣が崩れ落ち、目下修復中です。大木の根っこは実際に見る事ができます。又城の東の「喜斎門」のあたりも大木の根に押し出され大きな石垣の石組みがゆがんだ形で見られます。樹木の生命力の強さに驚くとともに、石垣の崩壊を防ぐ対応を今後どうしていけばよいのか考えさせられます。

また「工事中に発見」と報道がありましたが、石垣に防水の工夫がされていることもわかりました。玉石の層の上に粒子の細かい土の層と砂利の層を交互に四段重ねて排水性を高めつつ、雨水がしみ込まないように工夫、石垣が崩れるのを防ごうとしたと思われるのか。珍しい「傘」型の刻印のある石も見つかリ、大天守だけでなく城の周りの石垣・原生林・城内の保存樹・70~80本も植えられた桜(そめいよしの)などを散策しながら異なった面から姫路城の魅力を愛でて欲しいと願います。

(応援隊 小林 美波子)

厄除けは神河・薬王寺の「やくじんさん」へ — 2月19日(木)大祭 —

薬王寺神社は神河町東柏尾にあって、祭神は塞の神(道祖神)です。道祖神とは、道路の悪霊を防ぎ、通行人や村人を災難から守る神です。古来から厄除けの神として知られ、毎年2月19日の大祭には但馬地方や播磨一円からの参拝者で一日中賑わいます。

特にその年の厄年にあたる人への祈祷が朝早くから夕刻まで行われています。神社が所有する絵馬「ええじゃないか図」は慶応4年(1868年)に奉納されたもので、52人の村人が「ええじゃないか(*)」と浮かれ騒ぎ乱舞する姿が表情豊かに描かれています。

現存するこの種の絵馬としては国内唯一のもので、現品は兵庫県立歴史博物館に寄託し保管されています。

(県指定重要民俗文化財)

氏子からは「やくじんさん」として親しまれている2月19日(木)の大祭には善男善女多数お参りいただきたいと思います。

(*)「ええじゃないか」は慶応3年から翌年にかけて幕末の「世直し」的な性格を持ち、新時代の到来を予想した庶民の解放と喜びの民衆運動といわれています。
(応援隊 中野 秀美)



福崎町「生活展」のお知らせ

福崎町では2月に“環境にやさしいみんなの生活展”を開催します。楽しい催し物がいっぱいです。お友達を誘ってどうぞお越しください。

◇実習コーナー(参加者の皆さんに楽しんでいただけるよう作り方をお教えます。)

アクリル毛糸で「エコたわし」、折り紙の「おひなさま」、牛乳パックを利用した「かごづくり」など。

◇喫茶コーナー(福崎町特産のもち麦を使った“もち麦だんご”)

どうぞご試食下さい。

◇絵画展

研究会会員手作りの「ミックスペーパー回収袋」に、町内の幼稚園児達が環境への思いや楽しい夢の絵をかいた「絵画展」です。

◇その他販売等

安全新鮮な地元野菜の販売、手芸ボランティアグループ手作り品の展示・販売

消費生活研究会活動の「パネル展示」もしています。

(応援隊 尾崎 美津子)

- | | |
|--------|----------------------------|
| ◇日 時 | : 平成21年2月22日(日)10:00~15:00 |
| ◇場 所 | : 福崎町文化センター 小ホール |
| ◇主 催 | : 福崎町/福崎町婦人会/福崎町消費生活研究会 |
| ◇お問合せ先 | : (福崎町生活科学センター) |

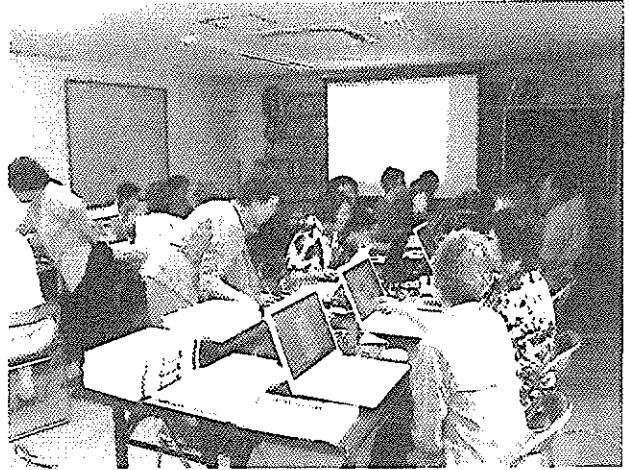
グループ活動紹介

…センターに登録されているグループの紹介コーナーです

◇◇NPO 法人姫路シニアネット◇◇

「姫路シニアネット」ではシニアの方も自由にパソコンやデジタル機器が使えるよう様々な支援活動をしています。「地方自治体、教育委員会、各地の郵便局等で無料講習を受け終了したが、パソコンが使えない、パソコン教室へ通い講習を受けたがパソコンが使えない、といった方は多いはず。だからといってあきらめないでください。私たちがサポートします」と代表者の石松さんは力強く語っています。

現在高速インターネット網の整備や電子政府の実現などのインフラの整備が急速に進行しています。こうした状況においては、「ITをうまく使いこなせるかどうか」で便利で豊かな社会生活を過ごせるかどうかにも決まってくるものと思われます。シニア世代にとっては、いわゆるデジタルデバイド（情報処理格差）は、現実の問題となってきたのです。そこでシニアの方にも情報化社会の恩恵を享受していただくために、「姫路シニアネット」は、市民活動として、デジタルデバ



イド解消のための支援活動を続けています。学習方法は個人のペースに合わせて学習していただく方法をとっていますので、だれでも抵抗なく取り組みます。姫路生活科学センターを会場に定期的な講座も実施中です。また、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、デジタルオーディオ、アナログ音楽からデジタル音楽への変換、アナログビデオからデジタルビデオへの変換などインターネットの活用の支援活動もしています。

活動や講習会に関するお問い合わせ ➡

ほっとひといき 山野草だより

可憐な花がかわいいセッコク

洋ラン類でなじみ深いデンドロビウムの仲間、着生ランの一種です。山地の岩壁や古木の樹幹に着生します。

私は 3～4号の素焼き鉢にミズゴケ植えにしたのと、ヘゴ板に貼り付け着生させた2種類で育てています。コツがつかめれば意外と育てやすく、手間もかかりません。

空気が好きなので棚の上に置き、冬も戸外で越させています。5月頃に棒上の茎に咲く白色の花はとても良い香りがします。花の色は他に淡紅色もあります。

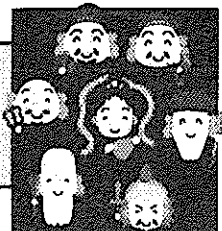
我が家の季節折々の 山野草をご紹介します



昨年5月開花時のセッコク

(応援隊 上山 和子)

「七福神めぐり」で今年の幸せを祈ってはいいかか？



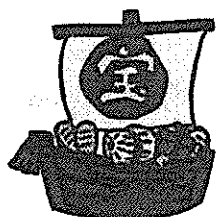
「播州夢前七福神」は姫路市夢前町の7つのお寺によって平成2年に発足した七福神めぐりの札所です。

七福神霊場は全国各地域に多くあり、色々な信仰でお参りされていますが、この「夢前七福神」はお祀りされているお寺が夢前町の各地区ごとにあり、夢前町を一周する形で1日かけてゆっくりお参りすることができます。

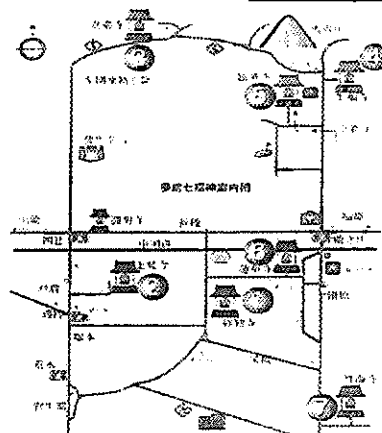
お参りの道中は、山中や川の側など気持ちが洗われる清々しい場所でもあります。毎年お正月には七福神初参りとして多くの人々で賑わっています。皆さんも「夢前七福神めぐり」でこの1年の幸運をお祈りしてみたいはいかがでしょう。

*③真楽寺の近くは

冬季凍結注意



- | | |
|--------|-------------------|
| ① 布袋尊 | 弥勒寺(夢前町寺 1051) |
| ② 寿老人 | 正覚寺(夢前町戸倉 419) |
| ③ 福祿寿 | 真楽寺(夢前町山之内乙 527) |
| ④ 毘沙門天 | 生福寺(夢前町山之内甲 442) |
| ⑤ 大黒天 | 臨済寺(夢前町新庄 1468-4) |
| ⑥ 恵比寿神 | 蓬萊寺(夢前町杉之内 291) |
| ⑦ 弁財天 | 性海寺(夢前町宮置 812) |



熟年の技を子どもたちに伝承 「あおぞら会」内閣府特命担当大臣賞をいただきました

姫路市夢前町管生小学校校区の熟年高齢者で構成する「あおぞら会」(会員数40名)は小学校と連携しながらメンバーの持つ知識や技能を地域の子どもたちに伝承するなどの活動を通じて「1校区1家族運動」に取り組んでいます。「あおぞら会」は「小学生たちの健全育成と三世代交流活動」を目的に平成15年に発足しました。これは核家族化が進む中、少しでも自分たちの持つ知識や技能を未来を担う子どもたちに伝え、世代間交流をしたいという願いから始まりました。

具体的には休日を利用して「竹細工」・「料理教室」・「里山観察」・「芋掘体験」・「民話読み聞かせ」や「餅つき大会」・「米作り体験」などを行っています。このたびこのような社会参加活動が評価され「内閣府特命担当大臣賞」の栄誉に輝きました。

(応援隊 遠周 加壽恵)

【ゆずジャム】 冬に出回るゆずをつかっておいしいジャムを作りましょう

【材料】 ゆず 2~3個 ・ 砂糖 ゆずの量の50%

【作り方】① ゆずは横半分に切り種を取って絞ります。皮は薄切りに小切にして薄い塩水に一晩つけ、流水でもみ洗いをしてアクをとります。

② ①の水気を切り少し厚めの鍋にひたひたの水を入れ、やわらかくなるまで煮ます。

③ よく煮えたら絞り汁と砂糖を加え、アクを取りながらとろみがつくまで煮ます。

* 湯にとかして「ゆず湯」にすると体が温まりますよ。

(応援隊 大野 律子)



平成20年度 中播磨省資源運動推進大会

- ◇日 時 平成21年2月16日(月) 13:30~16:00
◇場 所 大阪ガス(株) デリパ姫路 2階 Uホール (姫路市神屋町4-8)
◇内 容

◆ 記念講演

テーマ 「これからの省資源・省エネルギーの交通のあり方」

講 師 兵庫県立大学環境人間学部教授 井上 博司氏

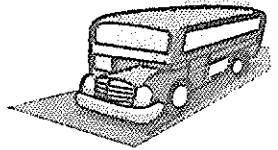
◆ 寸 劇 「くらしの中の省エネ」

中播磨消費者団体連絡協議会有志

◆ 展 示 手作りマイバッグ・リサイクル小物など

・主 催 中播磨消費者団体連絡協議会・中播磨県民局

・後 援 大阪ガス(株)



お申込・お問合せ先
兵庫県姫路生活科学センター

「中播磨生活創造フェスタ」大盛況！皆さんありがとうございました！

センターを拠点に活動している生活創造活動グループが日ごろの活動成果を発表する「中播磨生活創造フェスタ」が昨年11月20日(木)開催されました。今回で3回目のフェスタには、急激な冷え込みにもかかわらず約700名の方にお越しいただき、着物のリフォームファッションショーや子どものための本の読み聞かせ、コンサートなどを楽しみました。また展示や体験コーナーも好評、販売では地元産の野菜を使った「昔ながらのかしわ飯」や「豚汁」、産直野菜などが早々と完売し、スタッフはうれしい悲鳴を上げました。



普段着からフォーマルまで登場。
「もったいない」をアピール



県立大学の学生にも大好評だった
かしわ飯・豚汁

参加者の皆さん、
フェスタを支えてくだ
さった多くの皆さん
ありがとうございました。

(中播磨生活創造フェスタ実行委員会)

生活創造しんぶん Wa' Wa' Wa' とは...

しんぶんを通して、人の輪 Wa・平和の和 Wa・円 Wa・話 Wa・
環 Wa・縁 Wa... 限らない Wa に会いましょう。

新たな Wa を学び、Wa を結んで、ステキな Wa を伝えていき
ます。(生活創造応援隊 一同)

しんぶんについてのお便り・お問い合わせ
姫路市新在本町1丁目1番22号
兵庫県姫路生活科学センター
生活創造活動コーディネーター 小山